

# 岡山県立倉敷鷺羽高等学校

科学活動を通して自分の価値を見だし、自ら成長する力を醸成する取り組み



## 新型コロナ禍でも「やってみる」を実践

### YouTubeで実験動画の配信も

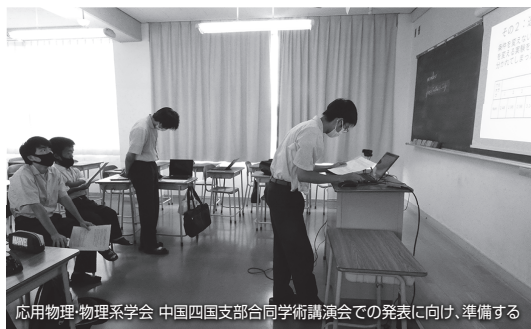
瀬戸内海を見晴らす位置にある岡山県立倉敷鷺羽高等学校には、現在、科学部がない。そのかわりに2021年1月から行われているのが、自由参加の放課後実験教室「サイエンスプロジェクト(仮)」だ。

担当の山村寿彦教諭が声をかけた数人で始めたが、参加者は約20人まで増えている。3年生の岡野有祐さんは「空気砲でどれくらい先までロウソクの火を消せるかを試してみた、といった話を教室でしていたら、『自分もやってみよう』という生徒がいて、自然に参加者が増えていきました」と言う。参加者増とともに活動も広がり、小学生向け科学教室の運営・手伝いや、YouTubeでの実験動画の配信も行っている。生徒たちを動かすのは、何でも「やってみる」の精神だ。

※YouTube 動画は「倉敷鷺羽高校 放課後実験教室」で検索



サイエンスプロジェクトの中心メンバー。他の部活と掛け持ちの生徒も多い。



応用物理・物理系学会 中国四国支部合同学術講演会での発表に向け、準備する



空気砲の実験。穴の大きさを変えて空気の流れを計る



窓を閉め切って実験しなければならないので、暑い



実験教室では、子供たちの探究心に驚かされることも

### みんなでやったほうがおもしろい

新型コロナ禍での活動には困難もあったが、それも「やってみる」の精神と工夫で乗り越え、7月末には応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会で研究発表も行った。課外活動が制限されるなか、生徒たちはLINEなどのオンラインツールで連絡を取り合い、準備を進めた。3年生の香川柊汰さんは「初めてのことで発表原稿の作成は苦労しましたが、みんなで話し合いながら作り上げていくのは楽しかったです」とはにかむ。

2年生の長田幸也さんも「他の人の視点や考え方がわかるから、実験や研究はみんなでやったほうがおもしろい。部活動とは違って敷居は高くないので、もっとたくさんの人にサイエンスプロジェクトに参加してみたい」と活動の拡大を願う。

正式な部活動にしないのは、実は山村教諭の作戦だ。「自由参加にすることで、逆に何でも『やってみる』の意識は高まったと感じています」と微笑んでいた。(個別助成)



#### ●実施担当

山村寿彦 教諭

#### ●活動のモットー

生徒には「やってみる」という選択をしてほしい。私が影響を受けた人はみんな「やってみる」を実践していた。

#### 学校概要



2020年度から普通科とビジネス科を設置。「誠実・創造・貢献」を校訓に、地域の教育ニーズに応える教育を展開している。

設立: 2005年

生徒数: 517人

所在地: 岡山県倉敷市児島野山田町2301番地

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索